

見晴台自治会新聞

2025-6 号
発 行
2025.11.17
自 治 会 局
自 務 事

自治会総出で取り組んだ夏祭りが終わり、それぞれの部会による活動が盛んな秋は、住民参加の様々なイベントや部会独自の行事が開催された。

「一緒に楽しんで、地域の絆を高めよう」

佐野小校区運動会開催

十月五日(日)第二十九回佐野小校区運動会(校区祭が佐野小学校運動場にて開催された。見晴台地区と佐野地区の住民が集まり、個人種目やその場で結成されたチーム対抗の競技で真剣に競い、秋空の下汗を流し地区を誇りで親睦を図った。

見晴台と佐野の自治会が共同主催し、佐野小学校区体育振興会が実行委員として運営に協力して校区祭が開催された。体育振興会は三島市体育振興会連絡協議会の下に市内の小学校校区毎に組織され、地域のスポーツ振興のためトリム教室やイベントを開催しており、三島市スポーツ推進計画における主要



校区祭開催
リレートロフィ(左)と優勝旗(右)



玉入れ
大人はかごから3m以上離れる



宅急便リレー
年齢、性別で箱の数が異なる



メディシンボールリレー

な団体の一つ。また、佐野小校区の振興会は見晴台と佐野を跨ぐ組織で、自治会としても地区を繋ぐ活動に協力をお願いしている。

前日の四日、見晴台自治会館では、朝九時から体育振興会と自治会健康増進部のメンバーが集まり、備品の搬出が始まっていた。五日の予報は晴れで校区祭は運動場で行う予定だが、四日の準備は昼頃から雨となり、ライン引き等一部の作業は翌日早朝に集合し行うことに変更された。

五日朝は雲が多いが晴れて、見晴台では七時十五分に体育祭の開催を告げる花火が打ち上げられた。八時半を過ぎると佐野小には佐野と見晴台それぞれから住民が集まり始め、開会式では大会会長挨拶、選手宣誓に続き、参加者全員で準備体操を行い競技に備えた。

競技は途中休憩を挟み八つの種目が行われた。種目毎に開始前のアナウンスにより参加希望者が招集され、集合場所に集まる。個人種目は参加対象が限定されている競技もある。チーム

競技種目
1. 徒競走(小学生)
& 親子でなかよく(未就学児親子)
2. 玉入れ
3. ジャンケン競争
4. 宅急便リレー
5. パン取り競争
6. 買い物競争(成人女性限定)
7. メディシンボールリレー
8. リレー

校区祭の種目(8競技)



リレー



リレー表彰(閉会式にて)

対抗の団体種目は誰でも参加できるが、その場で二十名程度の三あるいは四チームを編成しなければならない。招集係が集合した参加希望者を学年別、年齢別に呼び出し年齢層が均等になるようチーム分けを行い、競技が白熱するよう工夫がされていた。

種目は玉入れのようにおなじみの競技もあれば、環境変化や安全を考慮してルール変更されたパン取り競争やメディシンボールリレー、世代を超えて白熱したゲームが楽しめるよう実行委員がルールを考えた宅急便リレー等、集まった住民が初めて参加しても安心して楽しめるよう構成されていた。

最後の種目はリレー。各チームは他の競技と同様に年齢均等を考慮した編成で、ハンディなしの真剣勝負。一人の走る距離はグラント半周(第一走者と最終走者は一周)という手頃さが参加者をその気にさせ、コースの周りからの声援が拍車をかける。抜きつ抜かれつのレースが校区祭を最後まで盛り上げた。全ての競技が終了し、十三時からの閉会式ではリレー競技の表彰も行われた。閉会式の後はお楽しみ抽選会で、来場者は最後まで校区祭を楽しみ、見晴台と佐野の二つの地区で交流を深めた一日だった。

秋の全国交通安全運動に合わせ挨拶運動実施

九月二十四日(水)と二十五日(木)の二日間、生活安全部と協力者の組幹事、ボランティアによる挨拶運動が実施された。今年度三回目の挨拶運動となり、見送る側、見送られる側共に慣れた光景になってきた。通勤、通学は慣れた時こそ注意が大切。油断大敵の思いを込めて「おはよう」の声と共に安全確認を呼び掛けた。



挨拶運動
佐野小通学路入口の様子

「災害発生！避難所開設はどうする？」

佐野小学校避難所開設訓練実施

地震や豪雨等で災害が発生あるいはその恐れがあると、住民は指定された地域の避難所に避難する。避難所の迅速な開設のため、地域の防災組織、学校、現地配備員(三島市職員)による合同訓練が十月十八日(土)に佐野小学校体育館にて行われた。

見晴台では、やまばと公園に自主防災本部設置後に自宅待機を想定しているが、自宅待機できない人



体育館内レイアウト訓練
パーテーション組立



地震体験車(運動場)

が佐野小学校に避難する可能性もあり、今回の訓練に自主防災部役員を中心に役員九名が参加した。

三島市現地配備員による説明と指導が行われた訓練では、防災倉庫の鍵の所在から始まり、倉庫内の避難所運営グッズコンテナに収納されているアクションシートに沿って、トイレの設営や体育館内のレイアウト準備等を実施。続いて避難者の受入れ訓練、小学校受水槽からの給水方法の確認までを全体で一時間半かけて行い、開設の流れを理解した。小学校運動場には地震体験車も準備され、希望者は震度七までの地震体験をし、災害の怖さを体感した。

見晴台自治会では、同日午後自治会館に各組の自主防災部員と自治会役員が集合し、自主防災部主導で十二月七日に予定されている総合防災訓練の練習を行った。消火・生活班や救助班等班等に別れ、それぞれの担当について実技練習を行った。

「美しく住みよい環境作り」

秋の町内一斉清掃実施

十月十九日(日)町内一斉清掃が行われた。春の一斉清掃は雨天のため中止となったものの、今回は涼しい気候で天候にも恵まれ、大勢のボランティア参加によりやまばと公園、コミュニティ広場、浄化槽前緑地の清掃作業が進んだ。コミュニティ広場は想定以上に草が伸び作業が難航したが、二時間に及ぶ作業で清々しい街並みに戻った。



一斉清掃の開始時挨拶

加によりやまばと公園、コミュニティ広場、浄化槽前緑地の清掃作業が進んだ。コミュニティ広場は想定以上に草が伸び作業が難航したが、二時間に及ぶ作業で清々しい街並みに戻った。

かんたんな測定で歩く能力をチェック

「わたしたちのまちの健康講座」開催

三島市見晴台保健委員主催で健康増進部が協力し、地区担当保健師を招いた健康講座が、十月二十一日(火)に自治会館集會室で開催された。保健委員は自治会・町内会から世帯数に応じて選任され、見晴台では四名が活躍。地域行事に参加しながら健康づくり活動を実施している。健康講座は毎年開催されており、今年は転倒予防が題材。参加者十名は足指力測定と内転筋力測定を行い、自身の筋力の実態を知ったうえで、筋力の果たす役割やトレーニングでフレイルを予防する方法を学んだ。最後はいくつかのトレーニングを行い、鍛えなければならぬ筋肉を実感した。



筋力トレーニングを体験

自主防災部の紹介

避難所開設訓練で中心となった自主防災部は、部長一名、副部長三名の組織です。各組の自主防災部員と共に、災害の発生に備えて組長と連携した各組の避難体制の整備を図っています。また、三島市主催の防災関係会議や研修への参加、第五分団(佐野地区の消防団)との連携、防災訓練の運営といった災害に備える活動をしています。十二月七日の総合防災訓練は、今年から住民の方の参加を再開します。希望される方はやまばと公園までお越しください。